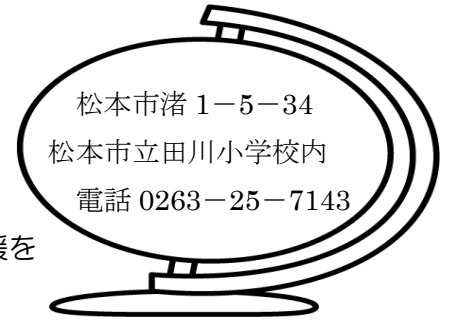


松本市子ども日本語教育センター便り

平成 30 年 11 月



松本市渚 1-5-34
松本市立田川小学校内
電話 0263-25-7143

中学 3 年生は進路を具体的に考える時期に来ています。日本語支援を受けている受験生も、日本語というハンデを乗り越えながら一生懸命受験勉強に取り組んでいます。が、勉強に加え入試のシステムなど子どもも親も知らなければいけない情報は山のようにあり、頭を抱えている家庭も少なくありません。“子どもの進路”。当事者にならないとなかなか実感できないものですが、今回のセンター便りでは、情報伝達の重要性についてお伝えします。

小学生のための進学説明会を終えて

子ども日本語教育センター開設から 9 年。日本語支援児童生徒が多い学校の先生方や、多文化共生プラザで日々外国住民の相談に接しているスタッフ、地域の支援者の方から、よく聞かれるようになったことの一つに「**進路に関する情報の発信は早ければ早い方がいい**」ということがあります。「中学校からでは遅い」という声も聞かれます。



そうした声を受け、10 月 27 日に「小学生のための進学説明会」を開催しました。小学生を対象に進学に関する説明会を開催したのは初めてです。中学校の生活や決まり、入学の準備について、また日本で生活していくならどんな進路があるのかなどをやさしい日本語で説明、7 家庭 19 名の参加者がありました。

初めは緊張した面持ちの皆さんでしたが、「やさしい日本語」による説明（もちろん通訳もありました）に少しずつ表情も和らいできました。参加した小学生からは「漢字が心配」「〇〇部に入りたい」と言った声が聞かれ、展示していた制服にそでを通す姿も見られました。全体の説明後、個別に質問する保護者の姿もありました。

当日の配布資料に「将来の夢はなに？」というものがあります。「将来＝大人になった時」「夢＝夜見る夢ではなくて、大人になった時何をしていきたいか」ということ、また、好きなこと、興味があることからつながる職業の例を一覧にしました。日々子どもたちと接している支援員から、子どもたちが自分の「将来の姿」を具体的に思い描けていないこと、「将来仕事をして自分で生活する」というイメージが持てていないことを実感する、という声が多くあったため作成したものです。資料を見ながら「あ、これやりたい」「じゃあ勉強しなきゃな」と話していた親子がいて、嬉しく思いました。



「今日の説明会でよかったことは何ですか（複数回答）」というアンケートの回答で多かったのは「中学校生活について」「入学の準備」「学習について」の 3 つです。授業時間が長くなること、教科ごとに違う先生が担当すること、制服があることなど小学校生活とはずいぶん異なります。また部活や行事、準備にお金はいくらかかるか、勉強はどれくらいしなければならぬか…など心配も尽きません。

私たちが想像する以上に“思いの外わからないことが多い”であろう日本での進路選択について、少しでも考える助けになればと思います。

最近よく耳にする「やさしい日本語」って何??

ルビふりだけじゃだめなの?

「やさしい日本語」とは、私たちが普段使っている日本語より簡単で、外国人に分かりやすいように配慮した日本語のことです。もともとは、災害の時に外国の人たちにも正しい情報が迅速に伝わるようにということから始まりました。最近では、観光業でも注目されてきています。学校現場でも、ぜひ活用してもらいたいです。

が、「普通の日本語より簡単」で「外国人にわかりやすい」日本語とはどんなものなのでしょう?例を交えながら具体的に見てみたいと思います。



1) 難しい言葉を避け、簡単な語彙を使う。

何が難しく、何が簡単か?ズバリ、漢字熟語を和語にするようなイメージです。

例) 今朝→今日の朝 記入する→書きます

2) 一文を短くして、文の作りを簡単にする。曖昧表現も避ける。

主語と述語を明確に、単文にします。日本語独特の婉曲的な言い方も避けたいところです。

例) 音楽会の写真を撮って頂いても構いませんが、無断でSNS等に載せないで頂けたらと思います。

→音楽会の写真を撮ってもいいです。でも、それをSNSに載せないでください。

3) 敬語表現は使わない。です・ますでOK!

例) こちらの用紙にお名前をご記入ください。→ここに名前を書いてください。

4) 同じ意味の表現はなるべく統一する。

① 可能「することができます/できません」

可能表現は可能動詞もありますが、日本語学習では「～することができます」を先に学びます。また「書けます」より「書くことができます」の方が、聞いた時にはっきりと可能表現だとわかります。

② 指示「～てください」

「～ましょう」ということもできますが、「～ましょう」には勧誘の意味もあります。意味が複数ある表現はわかりにくいです。

5) 擬音語や擬態語はさける。

これらは日本でしか通じないことが多いです。

例) 風がビュービュー吹いています。→強い風が吹いています。

建物がめちゃめちゃです。→建物が壊れました。

かなり簡潔にまとめましたが、もっと詳しく知りたい方は以下のサイトもご覧ください。

- 弘前大学人文学部社会言語学教室
- しまね国際センター
- やんしす (YAsashii Nihongo Slen System)